

八日當地の人々を興奮の中に巻き込み議會筋では右空襲は日本帝國の崩壊を招來すべき米國の大規模な對日攻勢の第一歩であること述べてゐる、今回の日本都市に對する空襲は眞珠灣並にパタアン半島に於て一敗地に塗れた米國の傷手を療すに充分であり戰爭は遂に直接日本人階級をする爲めに行はれたのである。而して過去數週間に亘り比島にある日本軍基地に對する米空軍の爆撃と相俟つて今回の空襲は今日迄傳統的に防禦方針のみに一貫してゐた米國を驚喜せしめた、米國民は米國機の日空襲に狂喜する一方空襲に参加した米國機の型と數と更に如何に日本本土に侵入得たかに就て種々の憶測を行つてゐるが、アリユーシヤンに基地を有する航空母艦か、比島、支那或はソ聯の基地より行動した米機に依り行はれたものではないかとの説も行はれてゐる、一方陸海兩省の關係者はこの快報に微笑を浮べてゐるが依然沈黙を守つてゐる。

△ニューヨーク電報（ロイテル電） 四月十九日

日本本土空襲に關し十九日のニューヨーク・タイムズ紙は左の如き論評を加へてゐる
「今次の空襲は我々の太平洋に於ける遠距離攻撃力が急速に延びつつあることを示すもので今後航空母艦よりする攻撃のみならず、アラスカその他より陸上機で日本本土空襲の望みも實現の可能性あることを證明した、更に我々はもつと日本に近いシベリアから日本本土の中樞部を攻撃することも望み得る譯である。

△ハバロフスク電報（ロイテル電） 四月二十日

（ロンドン發）ロイテル通信によれば日本を空襲した米機は何れも航空母艦より飛び立つたものと思はれる、米國は現在日本本土に遠攻し得るこの種航空母艦を六隻保有してゐる筈である。

◎ウエーク島大空襲

印度方面に於てウエーク島爆撃を報じあるが日本本土空襲に對照せしめある點注目さる。

△ニューデリー電報 四月十八日

日本が興奮してゐる眞の原因は日本本土を去る一千哩の地點にあるウエーク島を十八日米機が殲滅的大空襲を行つたことにあるものと信ぜられる。

◎好戰の日本、對ソ開戦理由を探す

英國筋は從來よりも日ソ戦不可避の謀略的宣傳を繰返しあるが、最近日本は對ソ開戦の理由

を求めあり等と報ずる一方ソ聯新聞は日本の攻撃準備に明答を與ふ等日ソ両面に對し衝突誘發を計画的に使喚宣傳しあり。

△ロンドン電臺（ロイテル電） 四月十七日

當地消息筋は昨今ロンドンに達する確實ならざる報道に基いて日ソ關係に關し、日本は日ソ中立條約の存在するにも拘らずソ聯を攻撃するため開戦の理由を蒐めてあるもの如しと左の如く觀測してある

「ロンドンに達した報道によれば新任佐藤駐ソ大使はスターリンに對し獨ソの媾和を提議したが右提議はスターリンに即坐に拒否されたといはれる、同報道によれば佐藤大使は右提議に際し日本の最後の見解を表示する可成り決定的な言葉を以つて日本はソ聯が日本の同盟國と戰爭を繼續する限り日本自體がソ聯に脅威されつつありと認むるものである旨及びモスクワ政府が獨逸と媾和を結ぶ意志あることを表明せざる限り日本は自國の安全確保のため必要な手段を採らざるを得なくなるであらう旨且つ日本は獨ソ間の媾和交渉に際しては公平な斡旋者たるべき好意を有する旨を申入れたと信ぜられる。この報道に關し佐藤大使がこれより以前にスターリンに對し日本の後門に對する極東赤軍の脅威を除去することを目的としたと思はれる或種の要求、而もこの要求の拒絶は日本に對し日ソ中立條約を

廢棄の理由を以てあると看做され得るが如き要求を提出したと云ふ確報のあつたことも相ひはされる。これを要するにロンドンに達した報道の結論によれば日本は獨逸の春季攻勢と同様乃至は適切な時期に於てシベリアに第二戰線を開いてくれとのギョトチの要求に對する必要の生づべき時期に備へて決定的方針のもとにソ聯との開戦の理由を集めつつあるものである。

△ロレーマ電臺 四月十九日

（ステファニア電）ロンドン・デイリ・エクスプレス紙は日ソ中立條約一週年紀念日に際しこのソ聯共産黨機關紙ブラウダの社説とソ聯放談は日本の對ソ攻撃準備に對する返答を成すものであると論じた時の英國新聞紙もソ聯は日本に對して警告を發したと報じてあるが、ボボロ・デイ・ローマンはこれらの報道は計画的に開戦を誘發せんとする陰謀であるとの如く述べてある。

「チャーチル英首相は横濱に對しソ聯の戰爭は英國に若干の休息期間を與へたがその休息はしかし少しの間しか続かず、東亞に於ける事態の急進は英國に窒息感をもたせてある、英國は新たな休息を必要としてソ聯に威嚇擴大を要請してあるがソ聯自身が目前に瀕してゐるのである」